

Workday ファイナンシャル マネジメント (財務管理)

グローバル化が進んだことで、ビジネス環境が目まぐるしく変化する今日、企業にはさらなる競争力強化が求められています。財務部門は、単なる会計管理の枠を越え、会計、キャッシュフロー、資産、プロジェクトのすべてを管理し、連結処理から決算、契約から入金、調達から支払い、プロジェクト、計画といったプロセスを完了させなければならないという大きなプレッシャーに直面しています。さらに、コンプライアンスと規制監督という複雑で厳しい要求を満たしながら、グローバルな成長を支え、利益率を達成し、戦略を提供しなければなりません。従来のソリューションは、このようなコア機能が複数のシステムにまたがって処理をすることが多いため、前線に立つマネージャにインサイトを提供することが難しく、リアルタイムでのパフォーマンス評価や将来に向けた計画の立案も困難でした。

インメモリとオブジェクト データ モデルを活用することにより、Workday はトランザクション処理、多次元レポート、連結処理、プランニング、コンプライアンスをサポートする単一のシステムを提供します。Workday へのアクセスは、デスクトップからでもモバイル端末からでも可能で、一貫したユーザー エクスペリエンスを通じて提供されます。

Workday ファイナンシャル マネジメント (財務管理) は、クラウド ソリューションに期待されるコア財務管理機能を提供する、グローバルで柔軟な基盤上に構築されています。単なる財務プロセスの管理にとどまらず、優れたインサイトを実現し、連結管理を向上して決算までの時間を短縮し、内部管理と監査能力を強化し、グローバル オペレーション全体の一貫性を確保することができます。

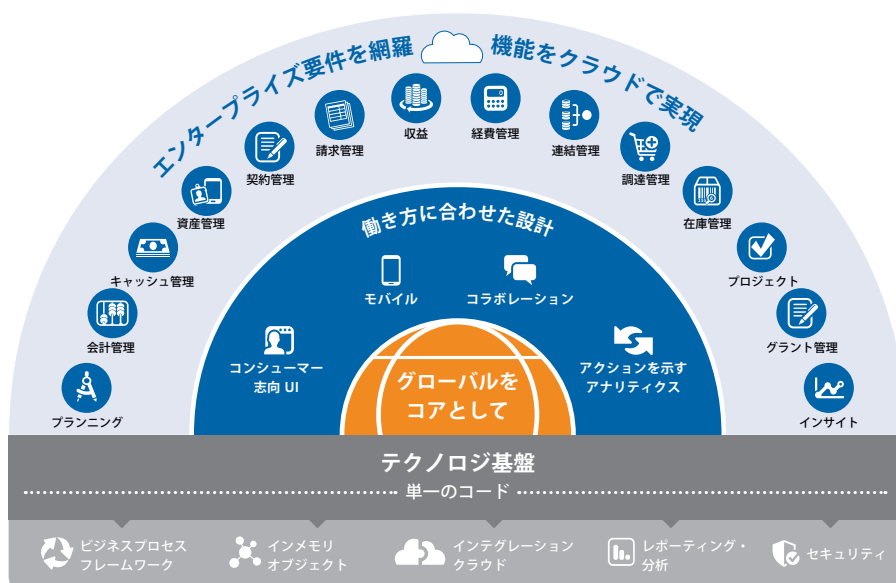
製品分野

アプリケーションと機能

- 会計・財務
- 収益管理
- 財務レポートと連結処理
- ファイナンシャル プランニング
- プロジェクト
- 経費管理
- 調達管理
- 在庫管理
- グラント管理
- プロジェクト請求管理
- 監査と内部統制

主なメリット

- ビジネスの全体を正確かつ迅速に把握
- エグゼクティブとビジネス マネージャに、有益で適切な財務上のインサイトを使い慣れたデバイスから提供
- 対象を幅広くカバーする、クラス最高の常時監査能力
- 業務を遅らせることなく、組織、プロセス、レポートの変更に対応
- 社員、マネージャ、エグゼクティブから監査役まで、すべてのユーザーに、一貫性と操作性を備えたインターフェイスを提供



1つ上のインサイトを目指して

マネージャーやエグゼクティブが適切な意思決定を行うには、必要とする情報を与えることが大切です。Workday を使えば、財務トランザクションだけでなく、いつ、誰が、どこで、何を、なぜ行ったのかについての詳細情報まで把握できるため、財務部門だけでなくすべての部門に、より適切な情報を提供することが可能になります。

変化を乗り越えるために

Workday の革新的テクノロジーにより、導入後に、組織、ビジネスプロセス、レポートに変更が生じた場合でも、追加コストなしで即座に対応することが可能です。

財務部門とビジネスユーザーのための設計

Workday のユーザー インターフェイスはとても直感的。ビジネス カスタマーも財務のプロも、最小限のトレーニングですぐ自在に操作できるようになります。エグゼクティブとライン部門管理には、日々の意思決定に影響する情報へのアクセスをより簡単にする Workday の操作性が役立ちます。

プランニング

Workday のファイナンシャル プランニングは、リアルタイムの財務データを活用することで、プランニング プロセスの合理化と、実行までの時間短縮を実現します。そのため、財務計画の策定と実行の効率が向上します。例えば、クロス ファンクショナルチームを結成した場合。複数のシステムを同時に操作したり、データの抽出やアップロードをすることなく、Workday 内で予算やフォーキャストを作成し、共同作業を行い、アクションを起こせます。また、ビジネス目標や市場動向が変化した時は、予算やフォーキャストを簡単に調整し、組織全体の主要なステークホルダーと共有することが可能です。

会計・財務

Workday ファイナンシャル マネジメント（財務管理）は、グローバル企業に必要なすべての会計および財務機能を提供します。

総勘定元帳の枠を超えて

Workday は、詳細に記載されたビジネス イベントの把握・記録を行うことにより、従来の総勘定元帳としての役割を果たします。総勘定元帳と同品質の財務・会計のレポートを作成できるうえ、これまでのように融通のきかないコード体系に縛られることはありません。

世界中で事業を展開する組織をサポートするために、複数の通貨、複数の言語、複数の帳簿などのグローバル要件がコア システムに組み込まれています。

このような会計処理のアプローチにより、勘定科目体系の管理プロセスが大幅に合理化でき、最終的に迅速かつ正確な決算につながります。Workday は、複数の事業体、企業、事業部門をモデリングできるため、関係会社間取引も簡単に処理することが可能です。また、配賦、仕訳処理、連結といったその他の重要な機能もスムーズに処理できます。

キャッシュフローの自動化と管理

キャッシュ バランスの推移およびトランザクションをリアルタイムで確認できるため、資金調達、支払、回収について効果的なリソース管理および的確な判断が行えます。Workday の決済エンジンを使えば、支出、収益、財務、給与計算といったすべてのトランザクションを監視できます。インフローとアウトフローを把握することで、将来のキャッシュ フローをより正確に予測することも可能です。

規模を問わない資産管理

これまで資産は、大きく、高価で、床に固定されているようなものを指していました。従来の固定資産システムは大型で固定された資産の処理はできますが、現在多くの企業にとって欠かすことのできないノート PC、携帯電話、Web 会議用アカウント、セキュリティ バッジなどの、高価値で低コストのリソース管理には向いていません。Workday は、これまで別の分野として扱われてきた固定資産や在庫品と、上記のような小規模で低コストながら、ビジネスには重要な意味を持つ資産の管理機能を統合しました。

リアルタイム財務連結修正とレポート

豊富なビジネス インテリジェンスを得るため、Workday はトランザクションが発生した時点で即座にビジネスの状況を捉えます。Workday のオブジェクト指向のアーキテクチャは、会計プロセスを効率化するために、財務レポートをリアルタイムで更新し、バッチ処理の必要性をなくし、調整にかかる時間を大幅に短縮することで会計部門の負担を減らします。

Workday なら、連結管理処理も簡単になり、必要に応じていつでも実行できるため、会計部門は最新のビジネスの状況を正確に反映した損益計算書および財務諸表を作成できます。また、決算プロセスの管理と追跡も容易に行えます。チェックリストとダッシュボードを使うことで、情報が収集、解析、決算時の透明性を確保できるため、数値、プロセス、レポートの信頼性に自信を持つことができるようになります。プロセスのやり直しが必要になる従来のシステムとは違い、Workday は調整も簡単に反映されます。

連結され、損益計算書と法定調書として利用可能になると、データとインタラクティブに対話できます。レポートから即座に詳細なトランザクションにドリルダウンできるため、さらなる分析や関連するアクションの実行が可能です。財務スコアカードは、現在の財務状況を最も正確に反映するよう設定されており、ビジネス ニーズに合わせて設定されたマトリクスを使って、ビジネスに関する包括的インサイトが提供されます。その結果、財務部門は他部門に対し、迅速かつ効率的に真実を語る資料を提供することが可能になります。

監査とコンプライアンスへの積極的対応

従来モデルであるボルトオン型のガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC) システムは、世界中のさまざまな法令や規則の遵守のみを想定していましたが、Workday はその点から考え直しました。Workday に組み込まれた、ビジネス プロセス フレームワーク (BPF) は、内部統制とガバナンスの要となるものです。BPF を使えば、常時監査のアプローチを含む内部のビジネス プロセスの設定と可視化ができ、システム内で、誰が、いつ、どこで、どのようなビジネス プロセスに関連して、何を実行したかを絶えず把握することができます。しかも、これらすべてが追加費用無しで利用可能です。

組み込み済みのビジネス プロセス フレームワークは、すべてのトランザクションを管理し、必要な情報をすべて集め、設定済みの承認プロセスを実行します。これにより、会計に影響を与えうる全てのトランザクションが、承認完了後すぐに監査可能となります。監査報告書とダッシュボードは、たとえば領収書のない費用の増加などの動向をリアルタイムで確認できるなど、事前に各活動とコンプライアンスを監視するよう設定されています。これらのダッシュボードからドリルダウンして、問題分野の是正措置を講じることができます。

また、企業は世界各地の法令に対応しプロセスの可視性を高め、全体的なリスクの低減を実現できます。ビジネス プロセス、監査証跡、セキュリティ モデルは、すべて Workday にネイティブに組み込まれているため、ボルトオン型のシステムを利用する必要がなくなります。

収益管理

設定可能なプロセスにより、360 度の部門横断的な視点でのモニターが可能になります。どんな CRM システムとも統合でき、契約書管理、請求スケジュール、収益認識を設定することができるため、顧客満足度を維持しながら、収益を最大化する方法でビジネスを管理できます。

顧客管理と契約管理

顧客アカウントと契約書の作成、承認、追跡を行うことで、組織の可視性を最大化するとともに、リスクを最小限にとどめます。契約期間内に発生した変更点をすべて記録し、請求と売上計上のスケジュールを切り離すこともできます。

CRM インテグレーション

Salesforce 向け Workday ファイナンシャル マネジメント コネクタは、Quote-to-cash プロセス全体の高度な可視性と精度を確保します。Salesforce.com からのオポチュニティ管理データを Workday に容易に統合し、シンプルで設定可能な Quote-to-cash プロセスを自動化できます。

請求、入金、監査

Workday は多様な請求・支払条件をサポートします。これにより、請求書の自動作成が可能となり、その正確性も確保できます。また、設定可能な請求プロセスを自動化することで手動での処理を削減し、計上漏れのリスクを最小限に抑えることが可能になります。

回収管理

単一のインテリジェンス ソースは、顧客の行動、ニーズ、貢献度に基づき共有サービスセンターの管理を可能にします。また、Workday が提供する予測分析は、回収担当がリスク スコアに基づいて顧客と請求書に優先順位を付けることに役立ちます。回収管理ダッシュボードでは、このリスクがハイライトされるので、最短で売掛金を現金化でき、回収担当者の介入を必要とするアカウントに優先順位付けを行います。

既存および新規 GAAP 基準への適合

新しい ASC 606 と IFRS 15 要件の発効により、いつ、どの程度の売上が計上されるかを精査する頻度が増えています。上場企業は 2018 年、非上場企業は 2019 年までに、新規要件への移行が求められています。Workday を使えば、収益イベントの記録、公正価格の分析、契約書のリンク、収益の割当てと認識が、簡易契約または複数要素を含んだ契約の両方について実行できます。Workday では、請求処理と売上計上をそれぞれ独立して管理できるため、適切なタイミングで正しい収益額を認識できます。新基準に移行するにあたり、代替契約書を作成し、さまざまなケースを想定したシナリオを検討することで、異なる収益認識戦略の影響をモデル化し、評価することができます。Workday は、代替契約書とレポート機能を活用することで、二重報告と開示要件への適合を大幅に簡素化します。

支出管理

Workday 支出管理アプリケーションを使用すると、企業の支出と有形資産の効果的な管理を提供します。これにより、持続可能な最終利益を導き出すことが可能になります。断片的で使いにくい従来のポイントソリューションとは異なり、Workday ファイナンシャル マネジメントおよび Workday ヒューマン キャピタル マネジメント (HCM) と連携した、支出管理に対する実用的なグローバル アプローチを提供します。

Workday 経費管理

Workday 経費管理を使えば、社員はあらゆるデバイスから経費報告書の取得、承認、提出ができるだけでなく、コストを削減し、会計の正確性を高め、さらに適切なタイミングでの払い戻しが可能になります。

Workday 調達管理

Workday は、物品およびサービスへの支出が抱える独特の要件に対応します。請求プロセスから支払いまで、Workday 調達管理は、単一のシステム内で完全な調達 / 支払機能を提供します。

Workday 在庫管理

Workday は、社内のサプライ チェーンで使われる物品を対象とした物品管理プロセスを余すことなく管理できる、エンドツーエンドのソリューションを提供します。Workday 調達管理を使った物品の購入と受け取りに加え、Workday 在庫管理では、物品の保管と、使用および補充状況の追跡が柔軟に実行できるようになります。

プロジェクト

Workday プロジェクトは、人財やその他のリソース、業務自体といった企業経営を成功に導く重要な要素すべてに集中するのに役立ちます。これらの要素をエンタープライズ アプリケーション スイート上で連携させることで、チームやプロジェクトの成功要因や自社の弱点や問題点を知り、組織全体の効率を向上させる有効な手段を見つけることが可能になります。Workday プロジェクトは、従来のボルトオン型のプロジェクトや業務管理システムとは異なります。Workday ファイナンシャル マネジメント、Workday ヒューマン キャピタル マネジメント (HCM)、Workday タイム トラッキング、Workday 支出管理機能とシームレスに統合されています。その結果、プロジェクトのライフサイクル全体を通して、プロジェクト、タレント、成果を効率的に計画、追跡、分析することができます。

プロジェクト請求管理

Workday プロジェクト請求管理は、請求可能なプロジェクトを管理および実行する組織向けに設計されています。この機能を使うことで、財務および請求担当者に、プロジェクト、請求、財務データの表示と処理が行える真実を語る情報を、一元的かつ安全に提供できます。また Workday ファイナンシャル マネジメントと併用することで、より正確な請求処理、収益認識、利益分析、利益率分析、財務報告が可能になります。Workday なら、費用は適切なタイミングで処理され、もう請求処理に必要以上の時間を要したり、会計チームの手間を取らせたりすることはありません。

会計・財務

コア ファイナンス

- GL、AP、AR
- 割当
- リアルタイムのグローバル連結処理および調整
- 関係会社間処理
- 暫定および確定決算用期末決算のチェックリスト
- 予算管理およびコミットメント会計
- 取引通貨、機能通貨、換算通貨の区別

バンキングおよびキャッシュ管理

- 銀行口座の管理と残高照合
- ひとつの決済エンジン
- キャッシュ バランスのリアルタイム予測と可視化
- 自動引落、顧客のクレジットカード、小切手、電子決済、positive pay サービス

事業資産管理

- 有形資産と無形資産
- 資産のマルチブック会計および償却
- 資産の処分および異動
- 複合資産と合同運用資産
- 資産の権利管理

監査と内部統制

- ビジネスプロセス設定の一元化
- グローバルなプロセス調整のサポート
- 設定可能なセキュリティ アクセス ポリシー
- データへの安全なアクセス
- 役割の分離
- すべてのトランザクションに対する完全な監査証跡
- 設定可能な例外レポートおよびアラート

財務レポート・分析

- ひとつに統合された財務諸表
- リアルタイムの連結、除外、通貨換算
- ビジネス プロセスの組み込み分析
- 多次元的なレポート (ワークタグ)
- 役割ベースのダッシュボード
- 業務レポートと利益性分析
- 財務スコアカード
- 予測的および指示的な分析

プランニング

- 予算編成、計画、収益予測
- ファイナンシャル プランニング
- ワークフォースプランニング

収益管理

契約

- 契約および顧客の管理
- 契約の修正条項の管理および監査
- Salesforce などCRMとの インテグレーション

請求

- 自動請求
- クレジット カードおよびデビット カードによる支払い
- プロジェクトの稼働時間および経費の請求
- 設定可能な請求料金体系
- エイジング、売上債権回転日数 (DSO)、支払履歴などのレポート

収益認識

- 収益および繰延入金のレポート作成および予測
- 収益認識スケジュール、会計、シナリオ ツール
- マイルストーン、スケジュールまたは分割による計上

支出管理

- Workday 経費管理
- Workday 調達管理
- Workday 在庫管理

プロジェクト

- タレント マネジメント
- ワークフォース プランニング・分析
- プロジェクト管理
- リソース管理
- Workday タイム トラッキングおよび Workday 経費管理と連動

プロジェクト請求管理

- 多次元的で柔軟なプロジェクト請求管理
- 割引、経費上限、時間制限などの科目設定
- 取引ごと、マイルストーンごと、または分割による請求
- プロジェクト原価管理、マージンおよび収益性分析

グローバルな財務システム基盤

- Workday 提供の国別設定
- 言語翻訳
- グローバル対応税務処理エンジン (付加価値税/VAT、商品サービス税/GST、売上税・使用税、源泉徴収)
- マルチ GAAP・マルチ台帳
- マルチ勘定科目
- グローバルな決済フォーマットと銀行取引明細
- 地方税償却資産
- グローバル連結

関連する Workday 財務アプリケーション

- Workday ファイナンシャル パフォーマンス管理
- Workday グラント管理
- Workday インテグレーション クラウド プラットフォーム

